

知床の森から



平成22年11月 第128号

知床森林センター広報誌

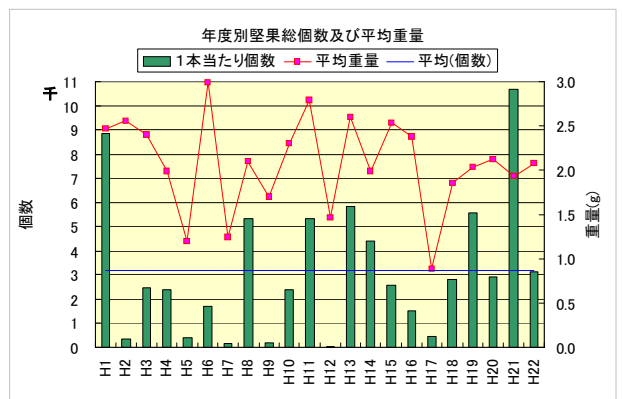
北海道森林管理局 知床森林センター
〒099-4355 北海道斜里郡斜里町ウトロ東(国設知床野営場内)
電話 0152-24-3466 FAX 0152-24-3477
ホームページ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



写真:ミズナラ堅果結実調査地の様子(岩尾別地区)

ミズナラ堅果結実調査&野生生物自動撮影調査速報

平成22年のミズナラ堅果結実調査(8月31日~11月5日)が終了しました。この調査は平成元年より毎年秋に斜里町岩尾別地区とイタシュベツ地区で行っており、1本のミズナラ(合計25本)に対して3つのシードトラップ(1m×1m)を設置し、毎週1回堅果を回収し、ドングリの豊凶と重さ・長さを計測しています。今年は合計3,687個(/75トラップ)のドングリが採れ、1本当たりで換算すると約3,145個(/本)、過去22年間の調査でちょうど平均の数値となっています。全国で多発している熊による被害。原因はいろいろ言われ、餌となるドングリの不足から人里に降りてきているのではとも言われていますが、知床では餌不足の心配はなさそうです。



また、野生動物の分布や行動等を把握するため、一昨年より年2回(6月、9月)行っている野生生物自動撮影調査も終了しました。今回は9月1日~15日の2週間、国有林内の林道6カ所にカメラを設置しての調査です。撮影されたフィルムにはエゾシカ、キツネ、タヌキ、コウモリが写っていました。昨年と比べ全体的に確認数が少ない傾向にありましたが、今年の夏~秋の夜間、国道沿いでよく見られたキツネは昨年より多く確認されました。(昨年比:エゾシカ-15、キツネ+11、タヌキ-15、コウモリ+1、モモンガ-1、キジバト-2、エゾライチョウ-1)

これらの結果やまとめ等詳細は、今後知床ボランティア活動施設やホームページ等で皆様にご報告していきます。

秋のイベントレポート

森林が紅葉を迎え、各地で様々なイベントが行われる秋。知床森林センターでもこの時期ならではのイベントを開催しました♪

第102回 森林レクリエーションin知床

知床世界自然遺産登録5周年記念「知床で森づくり・植樹体験と森林散策」



10月3日（日）、羅臼町春茹古丹地区にて知床世界自然遺産登録5周年を記念し、「知床で森づくり・植樹体験と森林散策」を開催しました。当日は定員を上回る17名の方が参加しました。遠くは「是非知床の未来の為に木を植えたい」と名古屋の方、地元羅臼町の方や東京農業大学のサークルの皆さんなど、各々色々な思いを抱いて参加して下さい、バラエティーに富んだメンバーでのイベントとなりました。今回の植樹対象地は遺産地域のすぐそばにあり、長期にわたり森づくりを行う計画となっている箇所、植樹活動は昨年からはじまりました。はじめに植樹箇所までの森林散策を行った後、アカエゾマツ75本とミズナラ45本の苗を植樹し、ミズナラにはエゾシカ食害防止のチューブを設置しました。昼食には、地元羅臼町の海の幸が詰まった「知床らうす特製海弁当」を味わい、知床の魅力を舌でも満喫しました。

最後に植樹記念に、各々1本の植樹木を選び名前と知床の森への想いを書いた札を下げてくださいました。末永く木々の生長を見守り、豊かな森を想像していただければと思います。また、今後も皆様のご協力のもと森づくり活動を行っていく予定です。



第103回 森林レクリエーションin知床

「知床の森の恵みでジャム作り&ツリーイング体験♪」



10月16日（土）、遊々の森・アッカムイの森で「知床の森の恵みでジャム作り&ツリーイング体験♪」を開催しました。当日は暑いぐらいの秋晴れで、山川海を持つアッカムイの森は成熟の時期、実りの秋を迎えていました。当イベントは「木育・食育を通して森を楽しむ」をテーマに開催。ご家族での参加も多く、非常に賑やかなイベントとなりました。

ジャムの材料はハマナスとヤマブドウ。みんなでハマナスの実を採取するところから行き、実をすり潰し煮詰め、美味しいジャムが完成しました。できたジャムは昼食に、現地で焼いた手作りのパンにつけて食べ、また、NPO法人知床自然学校（イベント共催）が用意したスープも振る舞われ、皆さん大満足の昼食となりました。

午後は森に入りツリーイングを行いました。ツリーイング専門家の講師の方の説明のあと、必要な装備を付け、ロープワークの練習。そしていよいよ本番。樹高27メートルの木を大人も子どもも一斉に登りました。怖がっていた子も登ってしまえば笑顔。いつもと違う感覚を皆さん楽しんでいらっしゃいました。

内容盛りだくさんのイベントとなり、皆さん存分に知床の森林を楽しんでもらえたのではないかと思います。



第31回しれとこ産業まつり

9月26日（日）、みどり工房しゃり（斜里町）において、「大地と海の恵みに感謝」をテーマに「世界自然遺産登録5周年・知床旅情誕生50周年 第31回しれとこ産業まつり」（主催：第31回しれとこ産業まつり実行委員会）が開催されました。

当センターは、丸太切り体験&コースター作りと、マイ箸作りのコーナーを出展しました。当日は風が強く肌寒い天気でしたが、お孫さんを連れてご年配の方、親子連れの方など斜里町内外の多くの方々が丸太切り等にチャレンジしていきましました。初めてノコギリを使うという子どもたちも多く、おじいさんやお父さんなどに教わりながら真剣な眼差しで熱心に丸太を切っていました。切った輪切りに好きな絵を書くなどしてとても満足そうにしていました。

普段身近にありながらも、あまり接することがない木に触れあう良い機会となったと思います。

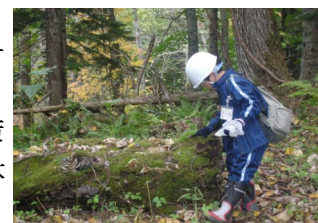


ゆめクラブ「森とあそぼう」



10月9日（土）、斜里町公民館ゆめホール企画「ゆめクラブ 森とあそぼう」の活動として、斜里町の子どもたちが知床の森林に学びに来てくれました。

今回は、木に親しむことと、斜里の森の姿を知ることを目的にオシンコシン上周辺の国有林で、森林観察、ネイチャーゲーム、エゾシカ樹皮食害防止ネット巻きを体験しました。散策コースには、太いカツラの木やトマツの巨樹、鹿など動物の痕跡や、きのこ、木の実などが見られ、自然体験がギュッと詰まった散策ができました。子どもたちは森にふれあい、またネット巻きを体験することで、森への親しみや大切さを感じてくれたようです。



知床自然愛護少年団がミズナラのポット作りを体験

10月16日（土）、第103回森林レクリエーションin知床「知床の森の恵みでジャム作り&ツリーイング体験♪」の開催と同時に、知床自然愛護少年団を対象にツリーイングとカミネッコンを使ったミズナラのドングリのポット作りを行いました。午前中のツリーイング体験後、午後からのドングリのポット作りでは、18人が4班に分かれそれぞれ1つずつ協力してカミネッコンを組み立て、ドングリを植えていきました。作業は子ども達の見事な連携プレーのおかげで早く終わり、その後の時間でイタドリで笛を作り楽しむこともできました。



最後に1人に1つずつのカミネッコンと土、ドングリのセットをプレゼントし、「それぞれの家庭で苗木を育て、来年この森に植えに来る」という約束をし、解散となりました。

こうした活動が今後も続き、子ども達が大人になった頃には、今よりもっと豊かな森になっていてほしい…と感じた一日でした。



道民森づくりネットワークの集い2010

10月23日（土）、北海道赤れんが庁舎前にて道民森づくりネットワークの集い2010（主催：北海道）が開催され、当センターでは、知床での森づくり活動、森林センターのイベント、知床国有林の見どころ等を紹介するブースを出展しました。当日は、北海道内だけでなく、道外や海外からのお客様も会場を訪れ、当センターの説明にも熱心に耳を傾けてくださり、知床の森林に関心を持っていただきました。

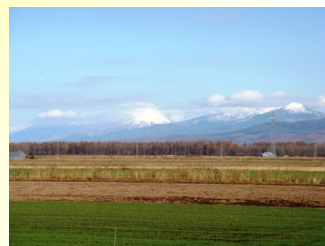


知床 は今

知床横断道路は冬季通行止めとなり、観光船の運航も終了した。ウトロ温泉のホテルの明かりは疎らとなり、街場の食堂等は営業を終えた。これから、流氷が訪れるまでの約3ヶ月、知床の観光はつかの間冬眠する。否、流氷時期の観光客の数は、冬眠から目覚めるほどには至らない。つまり、新緑を迎える5月下旬まで冬眠が続く。何故かヒグマの生態と重なる。

森林センターも冬眠する？ウトロに居を構えて2回目の冬。名声を得るには至らないが、着実にサポーターは増えてきている。冬眠している場合ではない。

観光客がないこれからの時期、センターの利用者も激減するが、地元で根ざし、地域振興にも資する活動に積極的に取組み、地元で愛され、そして全国に名立たる知床森林センターとなるよう努力しなければ。冬眠はしばらくお預けにしよう。(ヒ)



森林ボランティア活動施設から

9月30日～10月31日に知床自然センターと同時開催した世界自然遺産登録5周年記念写真展「世界自然遺産・知床」と、10月21日～11月21日に開催した「森の恵みで草木染め」では、多くの方にご来館、ご参加いただきお楽しみいただくことができました。今回は来られなかったという方も、引き続き楽しい催しを用意していますのでご安心下さい。次回は、ロングランイベント「知床の森の恵みでオリジナルリース作り」を開催します。期間は12月6日～12月24日となっており、クリスマスやお正月飾りにぴったりのリースを作ります。簡単な作業できれいなリースが完成しますので、どなたでもお気軽にぜひご参加ください。



「知床の森の恵みでオリジナルリース作り」

期間：平成22年12月6日（月）～12月24日（金） 閉館日：水曜日

時間：平日9時00分～17時00分 土日祝日10時00分～16時00分 場所：知床ボランティア活動施設



新任者の紹介 緑化第一係



10月1日付けの新規採用で赴任しました、中嶋佑輔です。出身は東京都北区です。知床に来てまだ1カ月ですが、知床の自然の中で多くの発見があり、心を動かされました。知床の魅力を多くの方の「新しい発見や感動」に結び付けることができるように努力いたします。どうぞよろしくお祈りします。

12～1月のイベントのお知らせ

詳しくは知床森林センターHPかお電話でご確認下さい。

実施月日	イベント名	場所・定員	申し込み期間等
12月4日(土)	第83回森とのふれあい 森の恵みでクリスマスリースを作ろう	知床森林センター 定員15名	12月2日まで 電話でお申し込み下さい
1月12日(水)	冬休み企画 作って遊ぼう昔のあそび	斜里町・ゆめホール 定員20名	未定 (HPにてお知らせします)

その他のお知らせ…下記の期間、リース作りのロングランイベントを開催します。

12/6～12/24(水曜休)「知床の森の恵みでオリジナルリース作り」

☆ 知床森林センターホームページ。「ブログ・知床の四季」では旬な知床情報をお届けしています！

→ <http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/siretoko/index.html>



この広報誌は道産間伐材を使用しています。